

(宣言日) 2023年 4月 28日

## 富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を進める富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	富士山麓有機農業推進協議会
区 分	<input type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	会長 宮田雅和
所 在 地	富士宮市青木418-5
U R L	http://fujisan-yuuki.com/
電 話 番 号	080-6583-2505 （宮下）
メ-ルアド-レス	fujisan.yuuki@gmail.com
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として2030年（中長期的な）のあるべき姿	
富士宮市で有機農業や自然栽培などに取り組む農家を増やすことで、自然環境の保全、食育や環境教育の推進、地産地消の普及、循環型社会の形成を目指す。	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
農薬や化学肥料を使わない有機農業（自然栽培など含む）は、環境への負荷が少なく、温室効果ガスの削減にもつながっています。会員で情報共有や勉強会を行うことで、より環境にやさしい農業の技術を導入していきます。 また、マルシェ（朝市）や学校などへの授業などを通し、市民にその活動を知ってもらい、富士宮市がオーガニックな町であることを内外にPRできます。	
SDGsの各目標に向けた取組内容・目標	
注力するゴール	2023年12月までの取組内容・目標
8	オーガニック野菜の需要を増やし、安定した収入を得られるようにする。
13	より環境に負荷の少ない資材の導入、マルチなどの適正な処理を行う。 農地への炭素貯蔵を増やす効果のある緑肥などの導入を増やす。
15	有機農業面積を広げることで、生物多様性が豊かな農地を増やす。

（記入上の注意）

1 3つの目標に関する取組を記載してください。（環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択し

ていることが望ましい。)

- 2 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 3 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課（[kikaku@city.fujinomiya.lg.jp](mailto:kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)）